

小学校教科用図書調査研究資料

図画工作

開 隆 堂
日 本 文 教 出 版

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：図画工作)

発行者名 採択基準	開隆堂 (図画工作)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 発達段階に応じた材料や用具が系統的に配列されており、児童がつくったり表したりしていかれるように配慮されている。・ 多様な材料や表し方を用いた表現が掲載され、児童が発想や構想のヒントを得て、主体的に活動できるよう配慮されている。・ 生活の中の造形や伝統工芸、対話場面が多く紹介されており、楽しく豊かな生活を思い描けるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等】	<ol style="list-style-type: none">(1) 低学年での材料を基に発想する題材から、高学年期にある児童の心情や他者を意識した題材など、児童の発達段階や個人差に応じた材料や用具、内容となるよう順序性や難易度が考慮されている。(2) コミュニケーションや言語活動を重視した、共同製作や鑑賞の題材を設定し、児童の主体的・対話的な学習に配慮されている。(3) 写真やイラストを多く掲載し、児童が手順、材料や用具の使い方を理解し、活動のイメージを広げられるように配慮されている。(4) 「造形の引き出し」に材料や用具の知識、使い方の工夫、手順が写真や図版・文章で示されており、必要に応じて参照し、知識・技能を習得できるように工夫されている。(5) イラストの配色、写真の配置などが工夫され、文章も意味のまとまりを意識した表記で、児童が意味を理解し易いよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価】	<ol style="list-style-type: none">(1) 各学年の発達段階に対応した題材を、心情、技法、関心、意欲の点から配列し、学習の積み重ねと活用が図られるように工夫されている。(2) 共同製作が多く紹介され、表現領域の題材では鑑賞場面の写真が多く掲載され、友だちや先生と話しながら、表現と鑑賞の学習の関連が図られるように工夫されている。(3) 「みんなのギャラリー」(全学年)や「つながる造形」(高学年)などにより、造形表現が社会と関わっていることを知り、作品などに対する見方や感じ方が深められるように配慮されている。(4) 「造形の引き出し」に材料や用具の知識、使い方の工夫、手順が写真や図版・文書で示されており、必要に応じて参照し、表現に活用できるようになっている。(5) 「ひらめきコーナー」「形と色でショートチャレンジ」の発展的内容や短時間題材により、多様な学習展開が可能となっている。(6) 題材毎に中心となるめあてが示され、それに対応した振り返りが示されて、児童がまとめや自己評価するときの観点が明確になるように配慮がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 3つの目標をキャラクターで象徴し、題材毎に主目標を設け、児童が学習を深められるように配慮されている・ 対話しながら追求している児童の写真が多く掲載されていることにより、深い学びのイメージが伝わるように配慮されている。

(種目：図画工作)

発行者名 採択基準	日本文教出版社（図画工作）
1 教科の目標からの配慮	・多様な表現が可能な題材、材料や用具が取り上げられ、つくりながら知識や技能の習得ができるよう配慮されている。 ・造形的な視点でイメージをもって活動する写真や多様な表現が掲載され、新たな意味や価値をつくりだせるように配慮されている。 ・活動を通して感じたり考えたりする視点が例示され、学びが生活や社会に生かせるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	(1) 児童の発達段階に十分配慮した表現方法、材料や用具を取り上げ、多くの児童にとって無理なく活動できるように配慮されている。 (2) 題材に興味・関心をもてるように、題材名やリード文、写真の大小など紙面全体が見やすく構成されている。また、友と楽しく活動している写真が掲載され、児童の活動意欲を高めている。 (3) 学習のめあてを的確に示し、実際の授業を撮影した写真や作品、図版から題材の魅力が感じ取れるように工夫されている。 (4) 安全面での配慮を、各題材の「きをつけよう」、巻末の「使ってみよう材料と用具」で、写真や図解で分かり易く説明されている。 (5) 発達段階に合わせてリード文が示されると共に、文字の大きさ、文字と背景のコントラストなど、はっきり読めるように調整され、すべての児童にとって読みやすいように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	(1) 小学校6年間、幼保小、小中の学びの連続が図られるように、同じ材料や用具に繰り返し関わり、発達段階と共に学びを深めていけるように配慮されている。 (2) 表現活動中の相互鑑賞や対話的な鑑賞の様子が掲載され、表現と関連した主体的な鑑賞活動ができるよう工夫されている。 (3) 児童の発想のヒントになる表現方法が示されたり、「ひらめきポケット」が設けられたりして、見方や感じ方を広げられるように配慮されている。 (4) 思いや考えをもとに活動を充実させることができるように、材料や用具の取扱いについて「使ってみよう 材料と用具」で丁寧に説明されている。 (5) 様々な形や素材を取り上げ、多様な表現が認められる中で、「ちろたん」の問いかけや助言により、児童の実態に応じて活動内容が工夫できるように配慮されている。 (6) 学習のめあてが3つの観点で示され、それを基に活動を振り返られるようにしたり、振り返りの観点を児童の言葉で例示したりして、学びを次の学習や生活に生かせるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・児童が自ら読んで、学習のめあてをもち、活動していけるように、題材名、リード文、写真等に工夫がされている。 ・造形的な見方・考え方を働かせて、授業の各場面で学びが深められるよう、題材の設定に十分配慮されている。